

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2017-113563(P2017-113563A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2016-247986(P2016-247986)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月25日(2020.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示手段と、

動作を行う可動部材と、

第1基板に設けられた制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記第1基板と、該第1基板と異なる第2基板とが接続されている場合に、前記可動部材の状態を検出可能な検出手段からの信号に基づいて、前記可動部材の異常報知を前記表示手段において実行可能であり、

前記第1基板と、前記第2基板とが未接続状態である場合に、前記可動部材の異常報知を前記表示手段において行わないように制御する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、表示手段と、動作を行う可動部材(例えば可動部材51～54など)と、第1基板(例えば演出制御基板12など)に設けられた制御手段(例えば演出制御用マイクロコンピュータ120のCPU130など)と、、を備え、前記制御手段は、前記第1基板と、該第1基板と異なる第2基板とが接続されている場合に、前記可動部材の状態を検出可能な検出手段(例えば可動部材位置センサ61など)からの信号に基づいて、前記可動部材の異常報知を前記表示手段において実行可能であり(例えば演出制御メイン処理のステップS58～S60などを参照)、前記第1基板と、前記第2基板(例えば演出制御用中継基板16Aなど)とが未接続状態である場合に、前記可動部材の異常報知を前記表示手段において行わないように制御する(例えば演

出制御メイン処理のステップS57などを参照)。

このような構成においては、製造段階や開発段階における作業効率を向上できる。